

ことねぎだより

初 水

はつ
みず

冬が到来し、初めて水が氷った時節のこと。まさに12月頃。

池の水面が凍っていたり、雨上がりの道にある水たまりが凍っているなど。ふとしたことから冬の始まりに気づく季節の言葉。

朝一番、トラックのフロントガラスに凍りつきがあり、溶かすと手間。畠のねぎにも霜が降ります。



今年一年、大変お世話になりました。

いつも支えていただいているお客様、関わった全ての方に感謝。今年の初めに「成長(進化)」とテーマを掲げましたが、畠での収量が上がったり、製品ロスの削減ができたり、働くスタッフの努力により、成長できた部分がたくさんあります。成長する過程で得られたモノを、より良いモノづくりに活かしてまいります。

今月の ことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語(事)を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

お待たせしました、いよいよ冬葱のお届けです

12月は、京丹後市・京都市内で栽培した冬葱をお届けします。

今年は10月以降も暖かな日が続き、この時期の京丹後市でもすくすくと生育しました。そのおかげで、12月前半は京丹後市のねぎを中心に、後半から京都市内のねぎを中心にお届け。

また、この時期は昼間の暖かさと共に加え、夜は気温がグッと下

がるため、葉がより太く、厚くなっています。たまに、太すぎて困ることもありますが、冬ねぎ特有の餡も蓄えられている証拠。甘みのある、美味しい冬葱になりました。



農人たちの畠での作業の様子、THE農業!の現場の「こと」を発信



頼もしいメンバーとの冬支度

冬も暖冬予報ではありますが、気候に左右されることも、それに対応していくことも私たちの仕事です。今年は暖冬と言われても、激しく寒くなるかも知れない、雪が降るかも知れない、生育や作業へのリスク軽減を図るために、今年も被覆作業を始めています。この作業は毎年の恒例行事で、一番上手くできるのは外国人技能実習生たち。初めて作業を行う人も、彼ら・彼女らに教えてもらいながら、やり方を習得していきます。



今年も10ha以上の被覆を行うので、皆で協力して、ねぎを寒さから守り、来年の春以降にお届けできるねぎを大切に管理していきます！

まだ背丈が低い小さい苗の時、毎月はアーチをかけて、お布団を被せるように被覆していきます。あたたまねー!!

被覆作業は一人ではできないので、メンバーで協力して進めています。この日の作業メンバーで♪



とある日の農人日記。

ある畠のねぎの1株あたりの量が多く、とはいえたねぎが細めというわけでもなく、綺麗な深緑。こういうねぎを鍋で食べるといいんだろうなと思いました。(収穫班・三田)

※年末年始、余裕を持ったご発注を

毎年この月(中旬以降)は、年末にかけての繁忙期・交通事情等で時間指定されても延着等のトラブルが発生しやすい傾向です。万一に備え、店舗様の方でも、通常よりも在庫をもち頂き、若干の延着が発生しても影響が緩和できるようにご協力いただけますと幸いです。